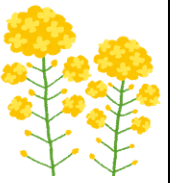




# 本が好き！本が好き！本が好き！

さいたま市立木崎中学校図書館だより

2022.4.20 司書 斉藤



木崎中によろこそ！1年生は中学校生活に慣れてきましたか？図書館が職員室の先にあって遠いという生徒もいるかもしれませんね。小学校と同じ本もありますが、中学校にしかない本もたくさんあります。つぼみの日に借りたいと思っている本がすでにあるかもしれません。どんな本があるのかぜひ見に来てください。オリエンテーションがすんだクラスから貸出を始めます。

2・3年生は進級おめでとうございます。静かに本を読む場所として大いに活用してください。2年生は昨年の意気込みを忘れず、今年も本を借りに来て下さい。

15日には新しい図書委員会が始まりました。今年も皆さんにたくさんの本を紹介して、たくさん本を借りてほしいと一同思っています。よろしく！



## ゴールデンウィーク

## 5冊貸出

## まとまって本が

## 読めるのは **今だ！**

**貸出期間 : 4/19(火)~4/28(木)**

**返却期間 : 5/6(金)・5/10(火)~12(木)**

今年度最初の5冊貸出が始まります。1年生はいきなり5冊も借りられるなんて！と思う生徒もいるかもしれませんね。中学に入って読みたい本があったという1年生ぜひ、この機会にまとめて借りてね！



今年の本屋大賞が決まりました。数ある候補作の中から選ばれたのは、「同志少女よ、敵を撃て」（逢坂冬馬 著）です。ドイツのソ連侵攻の中で、母を惨殺された主人公セラフィマが赤軍の女性兵士に救われ、復讐のために訓練を積み狙撃兵となり、前線へ。

奇しくもウクライナへロシアが侵攻する今、緊迫感に満ちたこの本が選ばれたのは、戦争に対する怒りや悲しみなど共感をもって読むことができるからではないでしょうか。3月に尾高先生が、国語の授業で紹介しその後図書館に寄贈してくださったので、準備ができ次第貸出します。



## 子ども読書の日



子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）

に誕生しました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日に期間を延長しました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われてきました。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか……。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。



### <木崎中図書館のきまり>

#### \*開館の曜日と時間

火～金 10時～16時45分

\*昼休みと放課後に本の貸出をしています。

#### \*貸出冊数と期間

原則 3冊1週間

読み終わらない時は、必ず延長しましょう。延長するときは必ず本を持ってきてください。

期間厳守（長く借りていると本を紛失するので気をつけましょう）

#### \*予約とリクエスト

予約・・・借りたい本が貸出中の時は予約ができます。

リクエスト・・・木崎中学校図書館に入れて欲しい本があったら、申し込んで下さい。

（内容を検討の上、購入します。）

★予約・リクエストした本が図書館に入ったときは、連絡します

#### \*学校図書館が閉まっている時は、入口横の返却BOXへ入れ下さい。

（返却の確認に時間がかかるので、開いている時はカウンターへ）



#### \* 学校図書館からのお願い \*

本を返す時は、なるべく元の場所に返すようにしましょう。

図書館の分類についてくわしくなり、必要な本が探しやすくなります。

### <図書委員会委員長より>

木崎中の皆さんが本を好きになってもらえるような活動を全力で行っていきこうと思います。

前期の間、どうぞよろしくお願いいたします。